

会場一丸となり取組みを確認（10 月 18 日）

2026 年国政報告会を十王町で盛況に開催


国会動向とこれからのビジョンを伝える

10 月 18 日（日）、十王総合健康福祉センターで国政報告会を開催しました。会場には約 300 名の方々にお集まりいただき、国会での活動や国民民主党の政策、地域が抱える課題と対策について報告しました。その後に開催した茨城県議会議員選挙に向けた決起集会では、公認内定予定候補者一人ひとりから決意が述べられ、熱気を帯びた集会となりました。地域の声を県政・国政に届け、暮らしをより良くしていくため、連携を一層強化していくとともに、引き続き現場主義の姿勢を貫いて取組んでいく思いを共有しました。


偉人の言葉と行動の大切さに触れる


ご来賓の皆さま

茨城県議会議員選挙公認内定予定候補者


齋藤英彰（日立市/現４）


高安博明（日立市/現２）


大足光司（高萩市・北茨城市/現１）


北原祐二（ひたちなか市/新人）


長谷澤和宏（つくば市/新人）

1020 飲食料品消費減税・支援金法案を審議

党税制会長として２年後に押し寄せる「中間層大増税」に反対の立場で討論しました。

本会議(10 月 20 日)



政府の消費税減税法案について質問。2 年後の「中間層大増税」への懸念を指摘し、低所得者支援の充実を要求しました。また、国民民主党の「給付付き現役世代減税法案」を提案し、公平な税制の実現を訴えました。

財務金融委員会(10 月 28 日)



政府の消費税減税と給付付き税額控除について、より具体的に質疑。減税効果を確実に物価へ反映させる仕組みや、低所得者への迅速な支援、また、現役世代の負担軽減に向けた対策を示し、政府に対応を求めました。

1020 中間層向け住民税減税法案を提出

税制の谷間が生じる中間層に対して年間 5 万円程度の住民税減税を恒久的に行う法案を提出。

10 月 20 日、議員立法「就業者の租税及び社会保険料による負担の軽減のために講ずべき措置 に関する法律案」(中間層向け住民税減税法案)を衆議院に提出しました(筆頭提出者:浅野さとし)。

政府案では 2029 年度に軽減措置が終了した際、給付で救われない中間層の負担増という大きな課題が残るため、税制の谷間が生じる中間層に対し、年間 5 万円程度の住民税減税を恒久的に行うとともに、控除額の引き上げや所得制限の撤廃などを組込んだ法案です。

▲スライド資料



法案の筆頭提出者として手交





1017 秋の地元イベントも大盛況！



今井みちえ北茨城市長が国会事務所を訪問（10 月 16 日）



パンダフェス（10 月 17 日）



桜きらめき会議（10 月 25 日）

事務局からのお知らせ

※この催物は政治資金規正法第八条の二に規定する政治資金パーティーです。政治資金規正法に基づき適正に報告・情報公開を行います。

浅野さとし君を育てる会※ ～時局セミナー～

今年のテーマは AI×ものづくり

日時 2026年11月17日(火)
開場 17:30 開演 18:00

会場 ルポール麹町 ロイヤルクリスタル
〒102-0083 東京都千代田区平河町2丁目4-3



講師 澤円氏
株式会社圓窓 代表取締役。
武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部専任教員。

お問い合わせ 浅野さとし君を育てる会 事務局 | 03-3508-7231

私たちと一緒に「新しい答え」をつくっていただける 特別党員・党員・サポーターを募集中です！

- 特別党員 （会費 45,000 円/年）
- 党員 （会費 4,000 円/年）
- サポーター （会費 2,000 円/年）

お申込みはこちら

◀10/27 より党サポマイページがリニューアルしました。入会済みで、新システムへのログインがまだの方もこちらからご確認ください。

お問い合わせは浅野事務所まで。

浅野さとし 略歴・所属委員会・党役職

▸1982 年 9 月生まれ（44 歳）
衆議院議員（茨城 5 区・4 期）

第 222 回国会 所属委員会/審査会	国民民主党 役職
厚生労働委員会（理事）	副代表
憲法審査会（委員）	税制調査会長
	倫理委員長



ＳＮＳにて日々、情報発信中！ 浅野さとしの活動をぜひご覧ください！

YouTube　Facebook　Instagram　X（旧 Twitter）　LINE